



東地申62号 派出検査体制の見直し（松戸車両センター上野派出所の解消）に関する申し入れ団体交渉を行う！！[その1]

1. 松戸車両センター上野派出所がこれまでに果たしてきた役割や、対応件数とその内容の変化を具体的に示し、解消する根拠を明らかにすること。また、他の派出所で対応可能な根拠を具体的に示すこと。

【会社回答】 車両不具合への対応による本線上の車両品質確保を目的として体制を整えてきた。車両の信頼性向上、輸送体系の変化、IP 無線配備による情報共有の迅速化等の取り巻く環境の変化を踏まえ、松戸車両センター上野派出所を解消するものである。

■ 上野派出所の役割や使命について

【組合】上野派出所の役割を具体的に明らかにすること。

【会社】常磐線を中心とした車両故障の対応によって輸送の安定性に寄与してきた。コロナ禍での車両消毒などの対応も行っている。

■ 対応件数について

【組合】上野派出所における対応件数の変化と、内容について明らかにすること。

【会社】2013年度は3170件、2020年度は1343件である。輸送体系の変化では、2015年度にUTラインで件数が減少し、また、2017年度に品川直通列車の増発によりさらに減少し、それ以降は同等の件数だ。2020年度ではサービス機器と座席の対応が8割を占めている。その他に多いものが保安装置であり、防護無線のクラッカープレートの取りかえなどである。

【組合】東京支社内での他の派出所の対応件数を示すこと。

【会社】上野は東京と同程度の件数、新宿・品川・赤羽が900件～1000件、我孫子は700件程度である。

支社内で上野派出が最も多い対応件数であることが明らかに！

■ 上野派出を解消する根拠について

【組合】なぜ上野派出所を解消するのか、理由を明らかにすること。

【会社】ライン管理として、常磐線は我孫子・上野・品川があり、輸送体系が変化し、品川の役割が上がりつつ上野が減少してきた。地理的に考え上野を解消できると判断した。派出は大規模輸送障害の対応というのが役割で、上野派出での対応は軽微な内容であり、今ここでやらなくていいものもやっていた。解消しても大規模輸送障害、輸送の安定性には大きな影響がない。

サービス機器に今すぐ対応しなくてもよいという回答は受け入れられない！

【組合】大小関わらず対応している。サービス機器にも対応し、解消されればサービスレベルが低下する！

【会社】それ自体を否定しないが、後からでも対応できる。サービスの低下にはつながらない。輸送の安定性を保つことが派出の役割である。サービスの維持が役割はない。座席だとかは移乗してもらうなど異常時はケースバイケースだ。会社としてできる対応をしていく。

サービスの維持が派出の役割ではないと回答！

【組合】添乗検査も行っているが、安全性や安定性が低下しないか？

【会社】解消によって変化するという事はない。

【組合】根拠がわからない！コストダウンが目的ではないか！？

【会社】必要な対応を行いながら効率的な業務執行体制を目指すことは変わらない。

**役割や使命が変化しないなかで、上野派出所を解消する根拠になっていない！！
首都圏輸送の安全・安定性の確保、サービスレベルの維持向上の観点から存置するべきだ！！**

その2へ続く

TOKYO MAIL NEWS



輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2022.4.1
No.275



東地申62号 派出検査体制の見直し（松戸車両センター上野派出所の解消）に関する申し入れ団体交渉を行う！！[その2]

2. 今後どのように首都圏の安全・安定輸送を維持向上させていくのか、派出検査体制の考え方と今後の展望を示すこと。また、他派出所の体制を強化すること。

【会社回答】 新型車両の導入および機器更新等の実施、輸送体系の変化、世代交代と社員数の減少等の構造変化を踏まえ検討していく。また、業務に必要な要員は確保していく考えである。

【組合】

- ・首都圏の現派出検査体制での成果と課題を示し、今後の展望を明らかにすること。
- ・上野派出は年間1000件以上対応している。他派出の体制を強化すること。

【会社】

- ・大規模輸送障害つながるおそれの車両故障に対応し時分の短縮を図ってきた。運行の判断などもしてきた。車両故障の状態や輸送体系によって変化する。対応できるところで対応する。
- ・強化する考えはない。他派出で対応できる。

対立!

3. 上野駅構内電留線および秋葉原電留線における、上野派出所解消後の対応箇所を明らかにすること。

【会社回答】 出動要請を受けた派出所等が状況により対応することとなる。

【組合】

- ・変更後はどこが対応するのか？
- ・断路器やセクションの扱いはどのようにするのか？
- ・頻度の少ない作業であり、いざと言うときに不安である！継続した教育を行うこと！

【会社】

- ・状況によって判断し近隣派出で対応することとなる。すでに教育は行っている。
- ・松戸車両センターでマニュアルを準備している。上野総合信号所に鍵をおく。
- ・継続的に教育していく。

確認!

4. 他区所からの預かり品について、上野派出所解消後の取扱いをどのようにするのか示すこと。

【会社回答】 他の派出所での活用等、必要な対応を行っていく。

【組合】

- ・預かり品はどうするのか明らかにすること。

【会社】

- ・本区または他派出に移管する。すでに配備があるものは返却する。3月中に運ぶ予定だ。

5. 上野派出所はこれまで教育の場としても活用されてきたが、今後の人材育成や技術技能継承の考え方を明らかにし、技術技能継承ができる体制とすること。

【会社回答】 引き続き、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

【組合】

- ・教育の場として活用されてきた認識はあるのか明らかにすること。上野派出の人がメインに教育している！多車種を扱うのが上野派出だけでありモチベーションが向上する場でもあったが支社の認識を明らかにすること！
- ・合同の派出の訓練もあったが？

【会社】

- ・教育の場として存在していたわけではないが、車セで身につけた力を営業線、生きた車両で発揮するものだ。必要な教育は行う。向上心については対応していく。
- ・コロナで縮小していたが、情報共有含めて支社としてフォローしていく。

6. 本施策により異動が発生するのか明らかにし、本人希望を尊重すること。

【会社回答】 異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

7. 上野派出所解消後も安全・安定輸送やサービスレベルが維持向上する体制を整えること。

【会社回答】 引き続き、必要な対応を行っていく考えである。

上野派出所解消後に首都圏輸送の安全・安定輸送、サービスレベルが低下していないか？検証していこう！！